

夢庭心

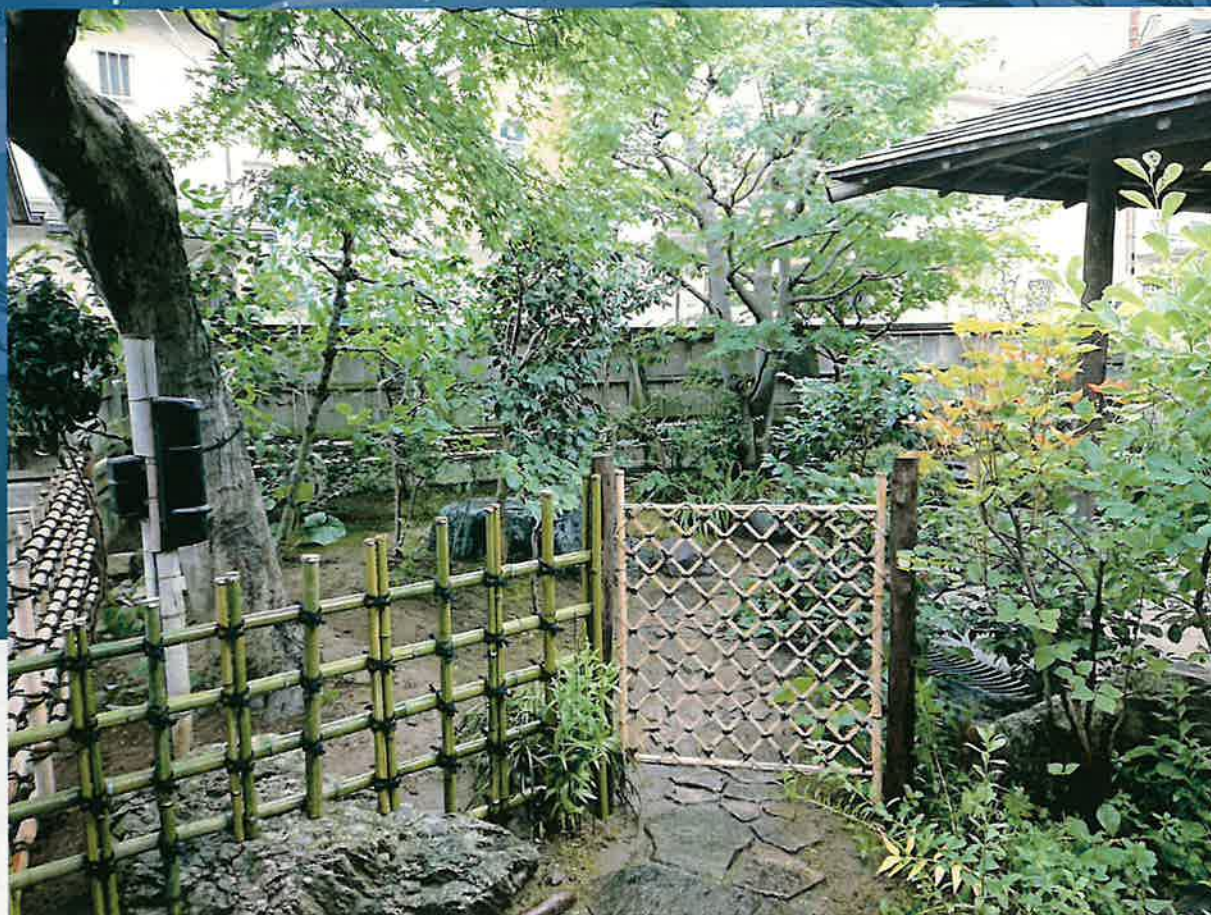
Yume Niwa Kokoro
Communication

通信

Vol. 17
夏・秋 合併号

平成30年9月発行

私たちは、夢のような庭を心をこめてつくり、
造園業を通じ、社会に貢献する事を誓います。



瑞々しい緑が美しい、松戸市・S様邸の茶庭です。お茶室よりのぞむ風景にふさわしい、伝統的で格式の高い和の庭づくりのお手伝いをさせていただいております。

新松戸の庭 S様邸手入れ

毎年、初夏から夏にかけて、お客様を中心に手入れのご依頼を多数いただきます。造園業としては繁忙期となり、現場では不安定な天気にも悩まされながらも、心を込めて樹木のお手入れをさせていただいております。その中から、今回はS様邸の手入れ・樹木剪定についてお届けします。

剪定前



S様邸のお庭は、お茶室を備えた茶庭（ちゃにわ）です。

花が終わったツバキやロウバイ、モミジなどの新緑が元気よく伸び、空間を狭く見せていたため、お手入れさせていただきました。

できるだけ枝を抜く剪定（※1）を心がけました。自然にやわらかい枝ぶりを残しつつ、大きさの調整をしながら剪定をしていきます。

庭木には茶花（※2）が多いので、むやみに剪定せず不用枝のみ切っていく、隣の木とのバランスなどを考えながら仕上げていきました。

剪定後



この日が小雨だったこともあり、打ち水をした後のように凛とした感じに見えます。

お手入れさせていただいた後の庭を見て、ただ自己満足するのではなく、お客さまと共感し合えるのがこの庭師という仕事のいい所だと思います。その共感を得るためにも、日々努力と勉強が必要であると、改めて感じました。

施工担当：弓削 和央（旧姓：山本）

※1「枝を抜く剪定」

樹木の込み合った枝を切り取って整理し、風通しや日当たりをよくする剪定方法

※2「茶花（ちゃばな）」

茶道で茶会の席に飾る花のこと。できるだけ香りがなく、季節感や侘（わび）を感じる花を用いる

新入社員自己紹介

廣瀬造園では、4月より新入社員1名を迎えました。職人の卵として、日々懸命に修行に励んでいます。成長をあたたく見守っていただけますと幸いです。

田中 佑治

たなか ゆうじ
18歳・埼玉県草加市出身



4月より入社いたしました、田中佑治と申します。

おじが廣瀬社長の後輩にあたり、父が造園業を営んでいるため、入社を希望いたしました。

入社して4ヶ月がたち、実際に仕事をやってみて、その楽しさ、大変さを理解することができました。わからないことは先輩が丁寧に

教えてくださるので、教えていただいたことを確実に理解し、実行できるように努力しています。

今は、基本である掃除、仕事の準備をやらせてもらっています。そして、礼儀、マナーも一から学ばせていただいております。いち早く一人前の職人になれるよう、一日一日を無駄にせず、大切に、少しでも多くの知識や技術を持ち帰れるように、これからも努力します。御指導のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



「樹木診断」 ってなに？

ホテル日航成田様の緑地管理を担当する
鵜澤がお答えします！



ホテル内に植栽されているスギに、「溝腐(みぞぐさ)れ病」という病気が見つかりました。強風などによる倒木のおそれがないか、樹木の調査・診断を行っていただきました。



樹木診断は誰がするの？

樹木診断は『樹木医』が行います。個々の樹木に「カルテ」を作成し、取るべき対策について提言をしてください。『樹木医』は民間資格の1つで、文化財である貴重木から街路樹などの身近な樹木まで幅広く保護する、すなわち「樹木のお医者さん」です。

樹木診断はどうやってするの？

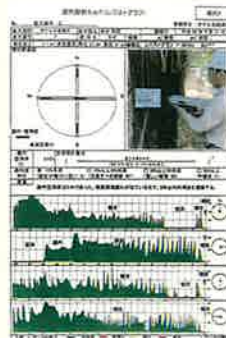
まず「外観診断(腐朽が進んでいる部分を叩き、音を聞き分ける)」を行い、一番の腐朽部について、精密診断である「貫入抵抗値測定」を『レジストグラフ』という機械を用いて診断します。



レジストグラフを使用した測定

樹木診断でなにがわかるの？

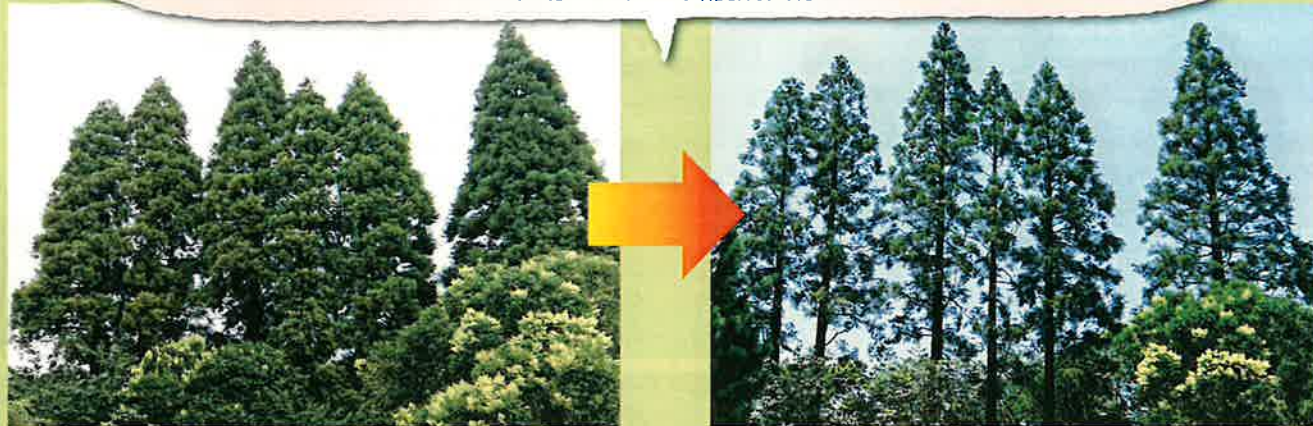
溝腐れ病により幹の内部の何%まで腐朽が進んでいるのか、1本ずつ確認することができ、これからどんな対策をとったらよいかがわかります。



カルテ

樹木診断の結果を受け、今回の現場では以下の対応を行いました。

現場：ホテル日航成田様



北風をまともに受けてしまう場所にあるので、風によるスギへの負担を少しでも減らすため、樹形を崩さず枝抜き剪定を行いました。今後も安全確保のため、3年以内に再度精密検査を行い、状況を確認していきます。

廣瀬造園ではさまざまな現場で樹木医に診断を依頼し、樹木の管理に役立てています。ご協力いただいた樹木医の皆様、まことにありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
ご協力：NPO 法人樹の生命を守る会



去る4月1日、弊社『感謝の日』にて、一般社団法人アジア支援機構・代表理事の池間哲郎先生をお招きいたしました。

なぜ池間先生にご講演を依頼したのか?それは私が、社員や家族にぜひ先生のお話を聴いて欲しかったからです。私はこれまで、先生のお話を何度も聴いてきました。人生の指針を教えていただいた方のお一人です。社員や家族にも聴いてもらうことで、私と価値観を共有し、また人生の一助にしてほしいと思い、講演をお願いいたしました。

今回は、池間講師の著書で「日本はなぜアジアの国々から愛されるのか」とタイトルにもなっているように、アジア途上国の貧困地域に生きる人々の姿を、1987年より池間講師自らが行った撮影、調査、支援事業の映像に基づき、日本の恵まれ過ぎている環境、一生懸命生きる事の大切さ、感謝の心、命の尊さについてのお話をさせていただきました。

我々は戦後教育の中、先の大戦で日本人は諸外国に対し悪い事をたくさんしてきた、と教えられてきました。しかし実際に外国へ行ってみると、現地で日本への非難を耳にしたことは一度もなく、感謝されるばかりだといえます。その一方で日本人は、戦争で悪い事をしたと思ひ込み、子供たちは日本人としての誇りを持っていません。

OECD（経済協力開発機構）が世界の中学生 2 万人を

対象に行った、興味深い調査結果があります。

あなたは先生を尊敬していますか?

YES 21% 日本（世界平均 85%）

あなたは親を尊敬していますか?

YES 25% 日本（世界平均 90%）

なぜ、こうなってしまったのか?もちろん、先の大戦で日本軍が負け、GHQのWGIP（War Guilt Information Program：占領政策）によって日本人としての自信と誇りを奪われ、罪の意識を植え込まれたことも理由のひとつです。ですが、それは戦勝国が敗戦国にすることとしては当たり前。われわれ日本人の大人たちがしっかりしないからだ、先生はおっしゃいます。

子供を怒るのではなく、叱る、躾をする、我慢をさせることの重要性和、同時にきちんとした歴史認識を持ち、日本人としての誇りを胸に、先人に恥じない生き方をしていくことが肝心であると教えていただきました。

私たちはこれからも、心の勉強と技術の勉強を続けながら成長し、今後もひたむきに社業に邁進していきます。ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしく願い申し上げます。池間先生、このたびはまことにありがとうございました。

代表取締役 廣瀬 竜一



祝・還暦
渡辺 正己



このたびも「夢庭心通信」お手に取っていただき、まことにありがとうございます。

平成30年6月30日、弊社職人・渡辺正己がめでたく還暦を迎えました。渡辺は現在、廣瀬造園でもっとも長く活躍している

スタッフ。これからも健康でますます活躍してくれることを祈念し、ささやかながらお祝いの会を催しました。これからもマイペースでがんばってくれることと思いますので、皆さま、渡辺の応援をぜひよろしくお願いいたします。

ベテランから10代まで、廣瀬造園では幅広い年代のスタッフで協力・切磋琢磨しながら、皆さまに「夢のお庭」をお届けするべく、今後もいっそう努力してまいります。次号もどうぞお楽しみに!



(有)廣瀬造園では、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。ご送付を望まれない方は下記連絡先までご一報ください。

有限会社 廣瀬造園

〒287-0061 千葉県香取市谷中42-1
TEL.0478-54-6488 FAX.0478-54-3348
E-mail info@hirose-zouen.com

廣瀬造園

検索



◀ 廣瀬造園ウェブサイト
www.hirose-zouen.com/

Facebook ▶

www.facebook.com/hirosezouen/



◀ G&Dラブラドル専門犬舎
www.labrador-senmon.com/